

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成29年1月17日(火) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

発表事項

1. 平成29年度政府予算(案)における運営費交付金の状況について
2. 山形大学の研究紹介 ～地方都市における中心市街地の活性化～
3. 学生の活動紹介 ～ビジネスプランコンテストへの挑戦～
4. 「やまがた食育カレンダー2017」が完成しました！
5. 山形大学造形芸術コースの学生が山形美術館で卒業制作展を開催

お知らせ

1. 山形大学参加のNASAの小型衛星計画が採択
2. 第6回グリーンマテリアル成形加工研究センター(GMAP)国際シンポジウム開催について
3. 山形大学特別イベント「文学と歴史の舞台 江戸・東京を歩く」について
4. 「山形大学基金」webサイトをリニューアルしました
5. 山形大学校友会設立10周年記念「関西セミナーby山形大学」について
6. 平成28年度「山形大学OB&OGセミナー」について
7. モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会in 大蔵2017について

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成29年2月7日(火)11:00～11:45

場 所:法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

学長定例記者会見(1月17日)発表者

1. 平成29年度政府予算(案)における運営費交付金の状況について

学長

こやま きよひと
小山 清人

2. 山形大学の研究紹介 ～地方都市における中心市街地の活性化～

学術研究院 教授(理論経済学・公共経済学)

これかわ はるひこ
是川 晴彦

3. 学生の活動紹介 ～ビジネスプランコンテストへの挑戦～

大学院理工学研究科応用システム工学専攻 1年

なかがわ いっかん
中川 一貫

工学部機能高分子工学科 4年

わたなべ けんいちろう
渡邊 健一郎

4. 「やまがた食育カレンダー2017」が完成しました！

地域教育文化学部食環境デザインコース3年

あべ みずき
阿部 瑞希

//

まつもと えりか
松本 絵利加

5. 山形大学造形芸術コースの学生が山形美術館で卒業制作展を開催

地域教育文化学部造形芸術コース4年

あきもと るい
秋元 瑠衣

//

ふじさわ
藤澤 ともか

平成29年1月17日
山形大学

平成29年度政府予算(案)における運営費交付金等の状況について

平成29年度の政府予算(案)が決定し、山形大学には、11,275百万円の運営費交付金等(前年度比351百万円増)が配分されることとなりました。

なお、平成28年度より、各大学の機能強化へ向けた改革方針や達成度を評価し、運営費交付金の一部を評価結果に応じて再配分する仕組みが導入されましたが、評価の結果、山形大学の運営費交付金の再配分率は102.7%で増額となりました。

1. 運営費交付金等

平成29年度予算額(案)	11,275百万円
平成28年度予算額	10,924百万円
増減額	+351百万円(3.21%増)

※平成29年度予算額には、新規補助金分を含む。

※主な増減要因は、退職者の増に伴う退職手当の増等。

2. 機能強化経費^{*1}(機能強化促進分)関係

平成28年度に新設された「機能強化経費」の「機能強化促進分」については、平成29年度も引き続き山形大学は、重点支援^①^{*2}を選択、以下のビジョン及び戦略の実施経費が措置されました。

【ビジョン】

「地域創生」・「次世代形成」・「多文化共生」を使命とし、学生教育を中心とする大学創り、豊かな人間性と高い専門性の育成、「知」の創造、地域創生及び国際社会との連携、不断の自己改革という5つの基本理念に沿って、教育、研究及び地域貢献に全力で取り組み、国際化に対応しながら、地域変革のエンジンとして、キラリと光る存在感のある大学を目指す

戦略① 学生の実践力・人間力の育成(基盤教育改革と国際化対応)

戦略② 人口減の抑制、新産業の創出等、地域課題に向き合い地域を変革する人材養成(学部改革・大学院改革)

戦略③ 発展的研究拠点の拡充と形成推進(特色ある研究拠点形成)

◇運営費交付金の重点支援について

第3期中期目標期間における運営費交付金については、各大学の機能強化に向けた取組を支援するため、予算上、3つの枠組みを設けて重点支援を行うこととし、各大学は、機能強化の方向性や取組の内容を踏まえていずれかの枠組みを選択しています。

重点支援は、各大学から拠出された約100億円(「機能強化促進係数」に基づく金額を運営費交付金から拠出)を財源として、評価に基づき再配分するもので、評価の結果、山形大学の再配分率は102.7%となりました。

機能強化促進係数による影響額に対する反映率	110%以上	110%未満 100%以上	100%未満 90%以上	90%未満 80%以上	80%未満
重点支援① (55 大学)	3 大学	25 大学 (山形大学は102.7%)	22 大学	5 大学	0 大学
重点支援② (15 大学)	1 大学	5 大学	7 大学	1 大学	1 大学
重点支援③ (16 大学)	0 大学	7 大学	6 大学	3 大学	0 大学

※1.機能強化経費：3つの重点支援の枠組みの中から各大学が支援を受ける枠組みを選択し、自大学のビジョンとそ
の実現に向けた戦略を実施するための経費

※2. 重点支援の枠組み

重点支援①：主として、人材育成や地域課題を解決する取組などを通じて地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界ないし全国的な教育研究を推進する取組等を第3期の機能強化の中核とする国立大学を重点的に支援する。

重点支援②：主として、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で地域というより世界ないし全国的な教育研究を推進する取組等を第3期の機能強化の中核とする国立大学を重点的に支援する。

重点支援③：主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を第3期の機能強化の中核とする国立大学を重点的に支援する。

3. その他 (施設整備費補助金)

○ 次世代型重粒子線がん治療装置の開発に向けた革新的技術開発

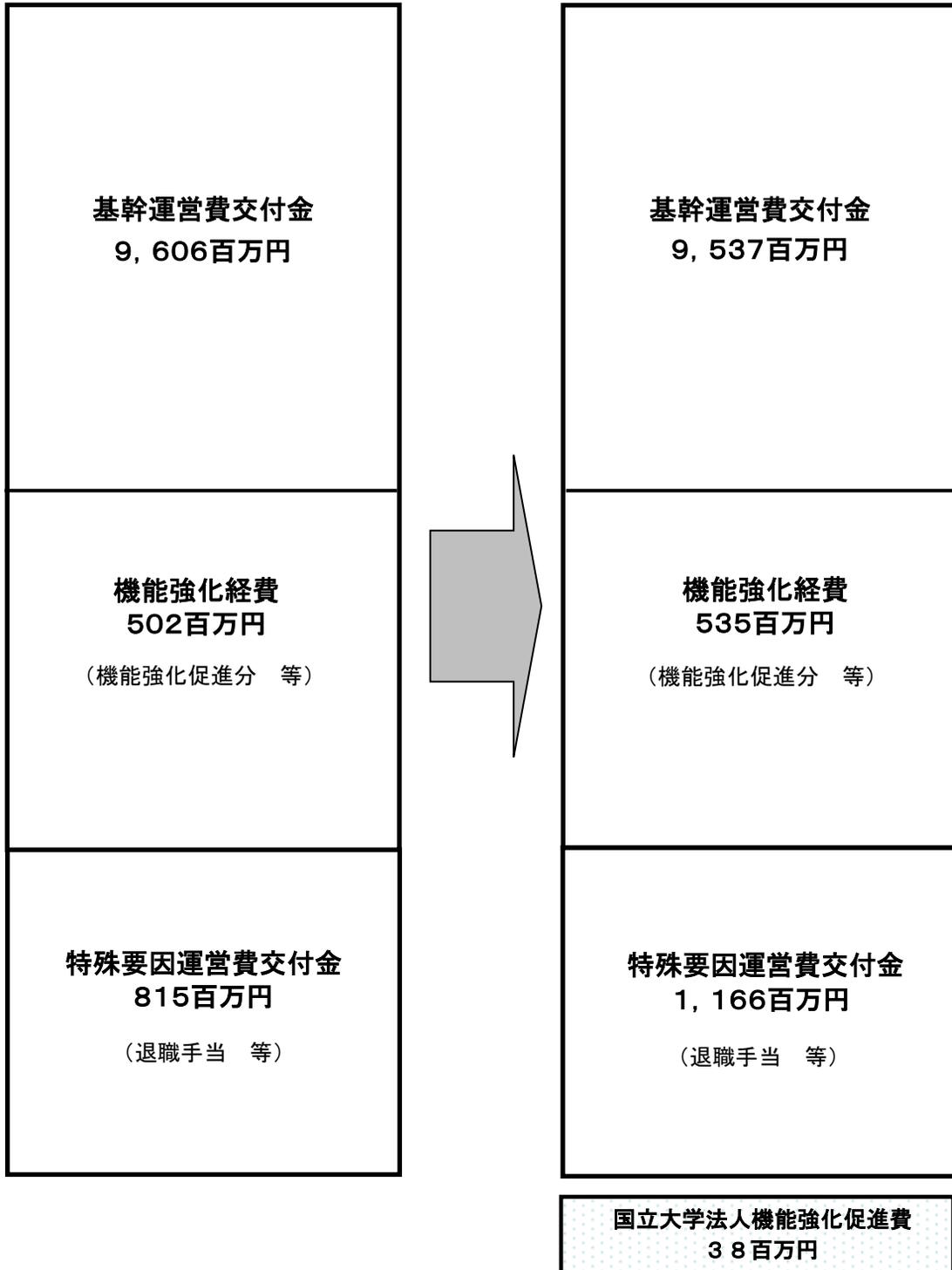
(平成29年度予算)

<p>(お問合せ先) 財務部財務課 電話 023-628-4046</p>

運営費交付金等の増減(山形大学)

平成28年度予算額
10,924百万円

平成29年度予算額(案)
11,275百万円
(新規補助金分を含む)
11,237百万円



※ 百万円未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

評価を反映した再配分の率、再配分額

【重点支援①】

大学名	29年度 重点支援の 再配分の率	29年度 再配分額 (千円)
北海道教育大学	102.7%	23,007
室蘭工業大学	92.4%	16,132
小樽商科大学	92.4%	9,107
帯広畜産大学	111.7%	22,863
旭川医科大学	86.4%	30,117
北見工業大学	92.4%	14,643
弘前大学	101.4%	64,828
岩手大学	99.9%	40,204
宮城教育大学	82.8%	8,211
秋田大学	102.7%	63,560
山形大学	102.7%	76,320
福島大学	113.0%	25,268
茨城大学	92.8%	31,479
宇都宮大学	102.7%	27,065
群馬大学	100.9%	80,467
埼玉大学	92.4%	26,356
横浜国立大学	102.7%	43,587
新潟大学	105.2%	123,703
長岡技術科学大学	100.7%	31,789
上越教育大学	92.4%	14,343
富山大学	80.5%	67,539
福井大学	98.5%	54,979
山梨大学	98.0%	55,115
信州大学	106.2%	95,878
岐阜大学	101.3%	76,049
静岡大学	90.8%	48,958
浜松医科大学	113.0%	43,436
愛知教育大学	99.6%	24,126
名古屋工業大学	102.7%	28,806
豊橋技術科学大学	99.7%	31,418
三重大学	108.1%	79,696
滋賀大学	102.3%	14,680
滋賀医科大学	102.7%	39,025
京都教育大学	82.2%	11,073
京都工芸繊維大学	102.7%	29,528
大阪教育大学	102.7%	24,859
兵庫教育大学	93.6%	16,638
奈良教育大学	82.1%	7,391
和歌山大学	95.1%	16,508
鳥取大学	98.9%	78,293
島根大学	92.4%	52,160
山口大学	92.6%	72,983
徳島大学	102.7%	89,432
鳴門教育大学	92.4%	13,683
香川大学	98.8%	55,412
愛媛大学	109.6%	83,547
高知大学	102.7%	61,355
福岡教育大学	92.4%	16,436
佐賀大学	95.9%	70,560
長崎大学	102.7%	104,812
熊本大学	102.7%	108,050
大分大学	102.7%	59,729
宮崎大学	102.7%	65,510
鹿児島大学	99.4%	107,104
琉球大学	102.7%	84,995

【重点支援②】

大学名	29年度 重点支援の 再配分の率	29年度 再配分額 (千円)
筑波技術大学	101.4%	11,536
東京医科歯科大学	110.0%	130,069
東京外国語大学	102.4%	29,414
東京学芸大学	93.1%	45,515
東京芸術大学	101.7%	44,553
東京海洋大学	95.4%	42,361
お茶の水女子大学	99.0%	27,634
電気通信大学	96.1%	37,766
奈良女子大学	81.3%	17,371
九州工業大学	96.5%	38,196
鹿屋体育大学	78.3%	10,032
政策研究大学院大学	94.3%	18,318
総合研究大学院大学	102.9%	25,017
北陸先端科学技術大学院大学	95.7%	54,435
奈良先端科学技術大学院大学	108.5%	61,486

【重点支援③】

大学名	29年度 重点支援の 再配分の率	29年度 再配分額 (千円)
北海道大学	103.0%	425,345
東北大学	99.3%	521,928
筑波大学	91.7%	309,255
千葉大学	87.8%	146,128
東京大学	102.0%	973,667
東京農工大学	100.2%	65,268
東京工業大学	106.7%	253,448
一橋大学	87.6%	68,739
金沢大学	100.9%	147,772
名古屋大学	94.9%	327,902
京都大学	108.5%	699,510
大阪大学	99.6%	504,181
神戸大学	97.7%	220,998
岡山大学	90.8%	159,918
広島大学	88.1%	228,675
九州大学	107.0%	460,092

平成29年1月17日
山形大学

山形大学の研究紹介～地方都市における中心市街地の活性化～

「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命とする山形大学の“旬な研究”を紹介いたします。今回は学術研究院の是川晴彦教授（理論経済学・公共経済学）の「地方都市における中心市街地の活性化」です。

1. なぜ中心市街地の活性化が必要なのか・中心市街地の機能

郊外型商業集積と差別化された中心市街地の機能を明らかにしました。

- (1) 地域に固有の特徴や独自性を表す・地域への愛着心につながる
- (2) 中心市街地には非日常性（街を楽しむこと）が存在する

2. 中心市街地活性化の調査研究・2つのアプローチ

中心市街地が抱える問題には、中心市街地に共通する本質的な要因によって生じる問題と、地域固有の要因によって生じる問題の双方が存在します。

山形大学まちづくり研究所では、上記の問題のうち、本質的な要因については経済学の理論を応用して分析を行ってきました。また、地域固有の問題については地域の保有する資源と活用方法などに注目して調査研究を進めています。

3. 中心市街地の特徴・経済学からのアプローチの一例

中心市街地の特徴は個別に意思決定を行う店舗や施設の集合体であることです。このため、ある店舗や施設の意思決定が他の店舗や施設に影響を及ぼすという外部性の問題が存在します。各店舗の合理的な選択が利便性の高い中心市街地の構築に結びつくとは限りません。

他方、郊外のショッピングセンターでは経営者の一括した意思決定が可能です。よって、外部性の問題が解決され、消費者のニーズに対応したテナントの誘致、快適な買い物環境の構築などが実現できることとなります。

われわれは、中心市街地における外部性の問題をどのように解決できるかについて様々な都市の調査を行い、その効果について分析を行っています。

4. 中心市街地活性化に求められる重要な視点

これまでの調査研究から、われわれは中心市街地活性化の取り組みに求められる重要な視点が明らかになってきました。特に重視しているのは以下の点です。

- ① 街に複数の核と軸を設置した場合の効果
- ② 中心市街地活性化に取り組む女性の活動
- ③ 高齢化社会に向けた中心市街地のあり方
- ④ 中心市街地活性化における大学教育の意義

今後の調査研究に向けて

1. 今後の中心市街地活性化の調査研究

上記1～4の調査研究に加え、集客性の高い資源を持たない中小都市における中心市街地活性化にどのように取り組むべきかについて考察を進めています。

2. 経済学の考え方の地域への還元

中心市街地活性化の調査研究に加え、経済学の理論や考え方を地域の抱える課題の解決や地域の政策に応用する研究を進め、地域創生に貢献していきたいと考えています。

*これまでの実績：山形県，山形市，米沢市，寒河江市，長井市，天童市など

さらに、やまがた大学まちづくり研究所，山形大学人文学部附属やまがた地域社会研究所においても社会科学分野の研究成果を生かした地域貢献を目指していきます。

参考資料

北川，山田編著『地方都市の持続可能な発展を目指して』山形大学出版会
(第2章 経済学的に考える 是川執筆)

(お問合せ先)

学術研究院(人文学部主担当)教授 是川晴彦

電話：023-628-4273

Mail：korekawa@human.kj.yamagata-u.ac.jp

平成29年1月17日
山形大学

「やまがた食育カレンダー2017」が完成しました！

全頁カラーの食育カレンダーが今年も完成しました。「家庭や学校で子どもと食べ物について話したり、地場産物を味わうきっかけになれば」との願いから、栄養士や栄養教諭、家庭科教員を目指す地域教育文化学部食環境デザインコースの学生が、毎年作成しています。

6年目となる2017年版のテーマは、「みんな来てけろ～山形うめえもん巡り」です。山形県おもてなし課長“きてけろくん”と一緒に、県内各地の見どころ、味どころを毎月紹介しています。

1. 本カレンダーの特色

- (1)見開き上部：その月にちなんだ料理を学生が考案。実際に調理し、画像と共に作り方を紹介。
- (2)見開き下部：食にちなんだ記念日、地場産物の紹介など、毎日異なる話題を掲載。
- (3)末尾：更に詳しく知りたい方のために、記念日の由来や地場産物の解説を掲載。



2. 本カレンダーにより期待される効果

家庭や学校、保育園・幼稚園等における食育の教材として様々な活用ができます。

- ①見開き下部の毎日の話題をきっかけに、巻末の詳しい解説も活用しながら、子どもの興味に応じて幅広い学習が継続的にできます。
- ②山形で味わえる毎月の旬の食材や郷土料理も紹介しており、子どもだけでなく、保護者、特に若い世代の保護者にも山形の郷土食に興味を持って頂き、地産地消にも貢献できるのではないかと考えています。

3. 発行に至るまでの経緯

2011年、本コース3年生対象の授業「栄養教育実習Ⅱ」において、担当教員である大森桂准教授が、カレンダーの製作を提案。学生が班ごとに担当する月を決め、毎日の食に関する話題として掲載する内容を調査。毎月の料理の考案・調理も学生が担当。編集作業は、本学の男女共同参画推進事業の一つである、研究継続支援員制度を活用。料理の撮影およびカレンダー全体の監修は大森准教授が担当。毎年、県内に限らず、北海道から九州まで、個人、各種学校、企業、行政機関等から、多数の入手申し込みを頂いています。

4. 配布について

今回の発行数は千部と例年より少なく、昨年までのように郵送による配布は行わず、キャンパス内インフォメーションセンター又は地域教育文化学部事務室にて、先着順で無料配布。詳細は学部HPに掲載。

(お問合せ先)
地域教育文化学部事務室 023-628-4304

平成29年1月17日
山形大学

学生の活動紹介～ビジネスプランコンテストへの挑戦～

山形大学の学生たちは、キャンパス内にとどまらず、様々なところで学生たちが自分自身の学びを深めています。

学生グループ「ELDK」は、米沢キャンパスで学ぶ学生たち5人のグループで、ビジネスプランコンテストに挑戦しながら、起業に向けて切磋琢磨を続けています。

1. ELDKについて

志村勉教授（ものづくり技術経営学専攻担当）から、大学・大学院起業家教育推進ネットワーク及び経済産業省が主催する、起業家教育の効果向上を図る為のビジネスコンテスト、「UVGP（University Venture Grand Prix）」への出場を打診されたことをきっかけにグループを結成しました。現在、及川裕香（大学院理工学研究科博士前期課程1年）、中川一貫（同1年）、宮澤拓真（同1年）、渡邊健一郎（工学部4年）、伏見晃一（同4年）、の5人で活動を行っています。

有機EL（白色光を発する有機EL）は山形大学から生まれた技術ですが、現在その技術を応用した製品の製造・販売を主に行っているのは韓国、台湾などの海外企業です。

そこで、山形大学に在籍している私達が、有機ELを用いた新たなサービスを生み出し、山形大学のアピールをしたいと考え、有機ELを活用したビジネスプランを考案しました。

私たちの目的は、起業家の資質を備える為にビジネスプランの立案・作成を通してビジネスについて学び、私たち自身の将来の糧にすることです。コンテスト優勝を目指して、挑戦を続けています。

2. これまでの挑戦について（コンテスト出場歴とその結果）

- ・2015年第4回 University Venture Grand Prix（UVGP）ファイナリスト選出
- ・2016年第11回 Campus Venture Grand Prix（CVG）奨励賞受賞
- ・2016年山形創生ビジネスプランコンテスト 奨励賞受賞

（お問合せ先）

大学院理工学研究科

応用生命システム工学専攻

中川 一貫

Mail：0419ikkan@gmail.com

有機EL窓の企画・

窓用の風景映像配信サービス事業



ELDK

山形大学

渡邊 健一郎
中川 一貫



BEDROOM



有機ELとは…

薄い

世界初となる
白色有機ELを開発



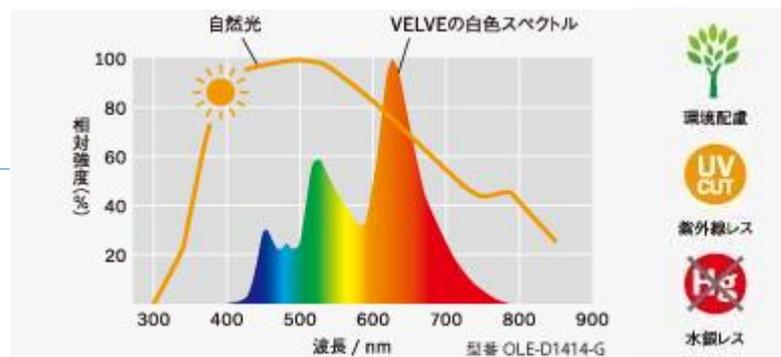
山形大学
城戸淳二教授

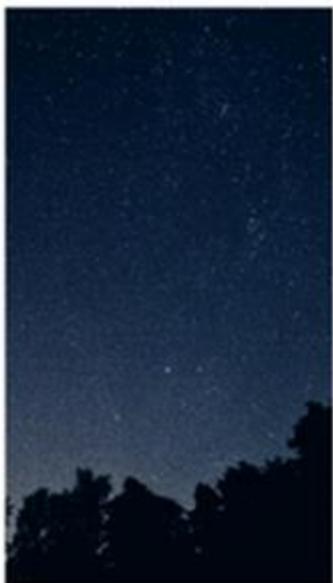


やさしい



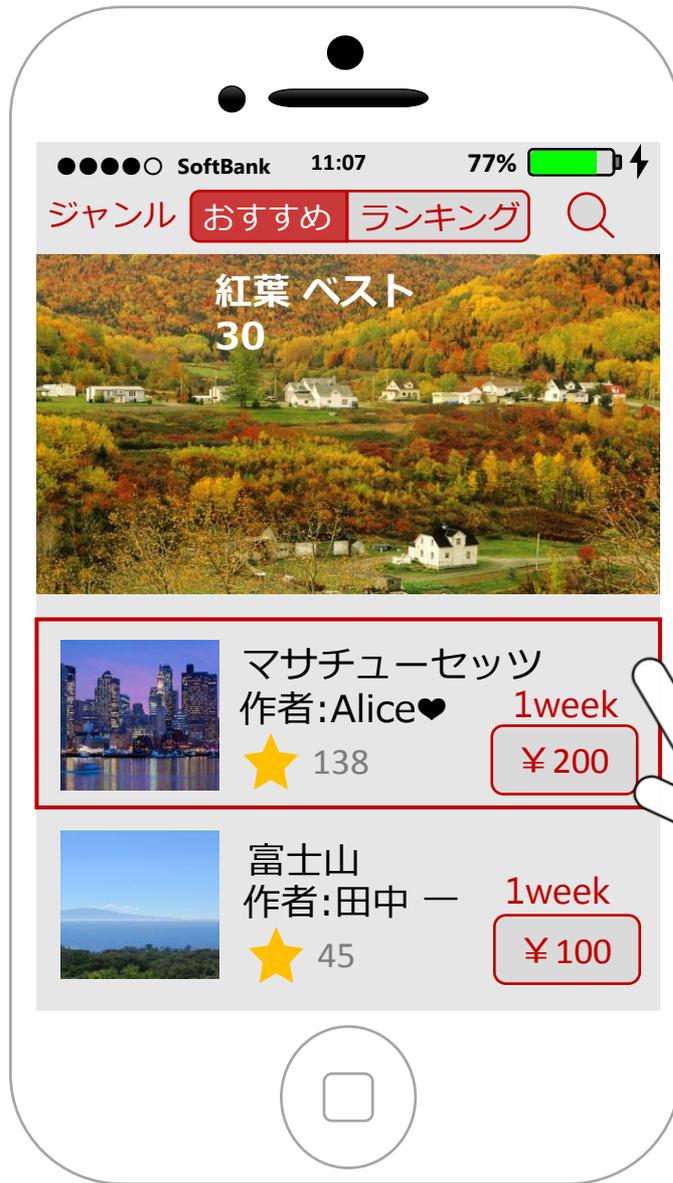
透ける





プラットフォーム

PC, iPhone, Android 各種デバイスからログイン可能



App Storeのように

- ・おすすめ映像
- ・投稿者
- ・ランキング
- ・金額
- ・購入数(★)

が表示される

Click!!

プラットフォーム

PC, iPhone, Android 各種デバイスからログイン可能



- 配信期間
 - 購入者のコメント
 - 試聴映像
 - 購入画面へのリンク
- が表示される

Click!!

ビジネスモデル

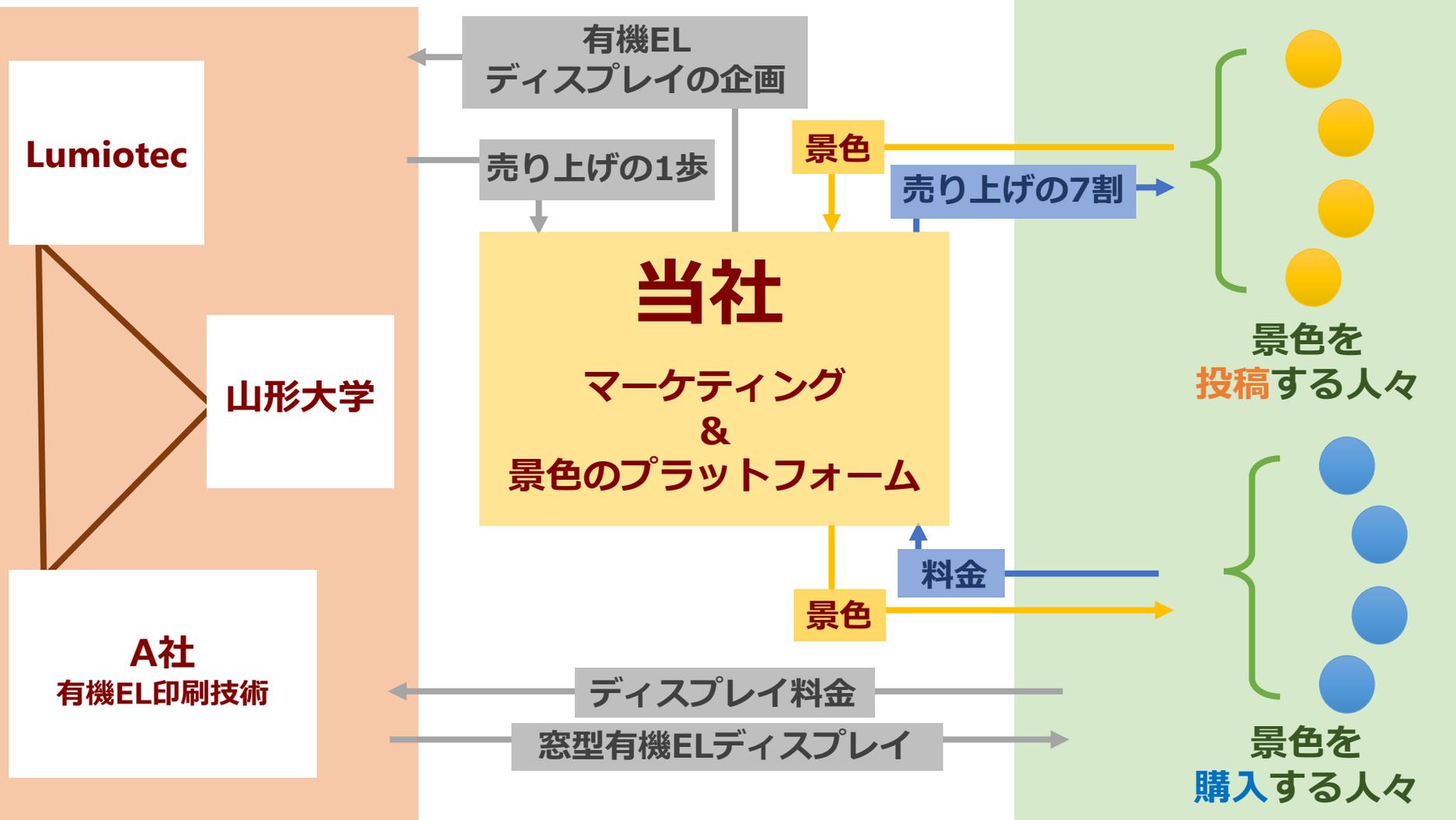
有機EL窓の開発・販売

有機EL窓の企画
景色プラットフォームの運営

景色の配信・販売
(リアルタイム映像)

有機EL コンソーシアム

ユーザー





本当の窓のようなリアリティ

豊富な風景映像

経営理念

人々に『窓からの景色は選択できる』
という概念を+plusする

理想の空間づくりに貢献し
全ての居住空間を
ずっと居たい心地いい場所へ…

平成29年1月7日
山形大学

山形大学造形芸術コースの学生が山形美術館で卒業制作展を開催

山形大学地域教育文化学部 造形芸術コースの学生が、2月1日（水）から5日（日）まで山形美術館で卒業制作展を開催致します。

◇趣旨

卒業制作展は例年山形大学地域教育文化学部造形芸術コース4年生が開催しているもので、学生自身の手から生み出した卒業研究の作品を展示する展覧会となっております。それぞれの作品に込められた思いを感じ取っていただければ幸いです。

私達は絵画、彫刻、デザイン、工芸など様々な分野で自らの手を動かし研究と作品制作に励んできました。どの分野においても作品は全て人の手から生み出されます。学生生活の中で培ってきた知識や技術、経験や考え方は一人ひとり異なっており、作品はそれぞれの学生の研究・制作の集大成といえるものです。

2月4日（土）には学生が自身の作品について語るギャラリートークも開催します。皆様の多数のご来場をお待ちしております。

◇インフォメーション

山形大学地域教育文化学部造形芸術コース・山形大学大学院地域教育文化研究科造形芸術分野 卒業・修了制作展2017

開催日時：2017年2月1日(水)～2月5日(日)
10:00～17:00(最終日のみ15:00まで)

会場： 山形美術館 2階第3展示室（山形市大手町1-63） 入場無料

ギャラリートーク： 2月4日(土)13:30～

(お問い合わせ先)
地域教育文化学部事務室 023-628-4304

E-Mail yamadai29sotuten@gmail.com

卒展

Yamagata University
Graduation Works Exhibition



山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科造形芸術コース
山形大学大学院地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術分野
卒業・修了制作展2017

2017年 2月1日水 ~ 2月5日日 10:00~17:00
(最終日のみ15:00まで)

山形美術館 2階 第3展示室 **入場無料**

2月4日土 **ギャラリートーク 13:30~**
修了研究発表会 15:00~

山形美術館

- 【住所】〒990-0046 山形県山形市大手町1-63
TEL:023-622-3090 FAX:023-622-3145
- 【徒歩】JR山形駅(東口)から徒歩15分
- 【バス】山形駅前から「天童(荒谷経由)」行、「山寺」行より約5分、美術館前下車徒歩3分
山形市中心街「100円循環バス」(10分おき運行)で約10分、霞城公園(大手門パルス)前下車徒歩4分
- 【車】山形自動車道「山形蔵王IC」から約15分
※山形美術館北側に無料駐車場がございます
※美術館前の山形市大手町駐車場は有料です



【問い合わせ】〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12
山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科造形芸術コース
[E-mail]yamadai29sotuten@gmail.com [twitter]@Yamadai_Zokei

平成29年1月17日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 山形大学参加のNASAの小型衛星計画が採択

郡司修一教授（高エネルギー宇宙物理学）が参加している小型衛星計画IXPEがNASAの最終選考をパスし、2020年の打ち上げが確定しました。郡司教授は、サイエンスコラボレーターとしてこのプロジェクト（IXPE）に唯一の日本人として参加し、検出器開発に対しての助言や科学的成果をあげるために必要なアドバイスを行ってきました。

2. 第6回グリーンマテリアル成形加工研究センター(GMAP)国際シンポジウム開催について

山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センター（GMAP）は、若手主体の国際シンポジウムを開催いたします。6回目の開催となる今回は、ライフ3Dプリンタ創成センター（LPIC：代表 古川英光教授）も共催に加わり、より広い分野からの研究者15名を招待しての開催となります。

日時：平成29年1月27日（金）～28日（土）

会場：山形大学米沢キャンパス 100周年記念ホール

3. 山形大学特別イベント「文学と歴史の舞台 江戸・東京を歩く」について

昨年度まで「藤沢周平の江戸・東京」題して開催しておりました山形大学特別イベントは、今年度からタイトルを変更して開催することになりました。町歩きは、上野エリアで、羽三山が属した寛永寺や明治に芭蕉の後を慕って山形を旅した正岡子規の旧居子規庵のある根岸、広大な霊園のある谷中を歩き、多くの文学作品に取り上げられた江戸と明治期東京の名残を探訪します。

日時：平成29年3月3日（金）10:00～16:30

会場：東京国立博物館平成館大講堂

4. 「山形大学基金」webサイトをリニューアルしました

山形大学基金は、これまでの山形大学未来基金、山形大学学生支援基金、山形大学国際交流事業基金、山形大学小嶋国際学術交流基金の各基金による事業の更なる拡充等を目的に、これらの4つの基金を発展的に統合し、平成28年9月16日に創設した全学の基金です。このたび、山形大学基金をより多くの皆様に知っていただくとともに、本基金へご寄附をお考えの皆様がより利用しやすい寄附環境を整えるため、webサイトをリニューアルしました。

5. 山形大学校友会設立10周年記念「関西セミナーby山形大学」について

校友会設立10周年を記念して「関西セミナーby山形大学」を大阪市内で初めて開催します。関西地域に勤務又は居住されている卒業生や山形県出身の皆様が一堂に集い、参加者同士が交流する絶好の機会とするべく、本セミナーを企画しました。

日時：平成29年2月18日（土） 10:00～14:30

会場：大阪新阪急ホテル

6. 平成28年度「山形大学OB&OGセミナー」について

首都圏地域に勤務又は居住されている卒業生や山形県出身の皆さまを対象として、今年で12回目となる山形大学「OB&OGセミナー」を企画しました。首都圏地域に勤務又は居住されている卒業生の皆さまが一堂に集い、参加者同士が交流する絶好の機会としたいと考えています。

日 時：平成29年3月4日（土） 10：00～15：30

会 場：グランパーク301大会議室

（東京都港区芝浦3-4-1 田町グランパークプラザ3F）

7. モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会in 大蔵2017について

大学コンソーシアムやまがたでは、モンテディオ山形を起点とした元気な地域づくりに貢献するため、雪中棚田サッカー大会を開催します。

日 時：平成29年2月18日（土） 8：30～13：30

会 場：山辺町大蔵の棚田

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎第7回学長特別講演会シリーズ、文部科学省の竹内顧問を迎えて実施

山形大学の3つの使命「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」を発信するため、昨年度から「山形から世界へ」をテーマに学長特別講演会を開催しています。7回目となる今回は、文部科学省顧問 竹内佐和子氏を講師に迎え、講演と学長との対談を行います。

日 時：平成29年1月17日（火） 16：30～18：00

演 題：東北の文化力とイノベーション

会 場：小白川キャンパス 理学部S401教室

◎入試直前相談会を開催します

山形大学への受験を考えている方へ、各学部の教職員が個別に相談に応じる入試直前相談会を、仙台、山形の2会場で開催します。

■仙台会場 日時：平成29年1月21日（土） 13：30～16：00

会場：仙台ガーデンパレス2階

■山形会場 日時：平成29年1月22日（日） 13：00～15：00

会場：山形大学小白川キャンパス理学部11～14番講義室

◎農学部研究シーズ説明会・ビジネスマッチの開催について

日 時：平成29年1月24日（火） 13：00～14：10（研究シーズ説明会）

14：15～16：20（ビジネスマッチ）※要事前予約

会 場：農学部会議室

平成28年1月17日
山形大学

山形大学参加のNASAの小型衛星計画が採択

山形大学の郡司修一教授（高エネルギー宇宙物理学）が参加している小型衛星計画IXPEがNASAの最終選考をパスし、2020年の打ち上げが確定しました。X線の偏光という新しい観測手法でブラックホールを初めとする様々な宇宙の高エネルギー現象が明らかになると期待されています。

NASAマーシャルスペースフライトセンター(NASA/MSFC)では、宇宙の高エネルギー現象を偏光という新しい観測手法で探るため、今まで未開拓であった偏光情報を取得できるX線望遠鏡の開発を進めてきました。この望遠鏡が稼動すれば、ブラックホール近傍の時空の歪みの検出や一般相対性理論の実験的な検証が可能になると考えられています。

郡司教授は、サイエンスコラボレーターとしてこのプロジェクト (IXPE) に唯一の日本人として参加し、検出器開発に対しての助言や科学的成果をあげるために必要なアドバイスを行ってきました。そして2017年1月4日にIXPE計画が最終選考にパスし、2020年に打ち上げられる事がNASA本部より発表されました。

詳しくは以下のNASAニュースのホームページをご覧ください。

<https://www.nasa.gov/press-release/nasa-selects-mission-to-study-black-holes-cosmic-x-ray-mysteries>

(お問合せ先)

山形大学学術研究院

教授 郡司修一（高エネルギー宇宙物理学）

電話： 023-628-4555

E-mail: gunji@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

平成29年1月17日
山形大学

第6回グリーンマテリアル成形加工研究センター（GMAP） 国際シンポジウム開催について

山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センター（GMAP）は、ライフ3Dプリンタ創成センターとの共催で、1月27日～28日に若手主体の国際シンポジウムを開催いたします。

GMAPでは、これまで、センターのアクティビティを示すとともに、欧米諸国、アジア諸国との若手研究者とのより強固な連帯を目的に、2010年から毎年1月下旬に国際シンポジウムを開催してきました。今回は、特にライフ3Dプリンタ創成センターも共催に加わり、より広い分野からの研究者15名を招待しての開催となります。

山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センター（GMAP:代表 伊藤浩志教授）は、山形大学米沢キャンパスにおいて、下記のとおり国際シンポジウムを開催します。

6回目の開催となる今回は、特にライフ3Dプリンタ創成センター（LPIC:代表 古川英光教授）も共催に加わり、より広い分野からの研究者15名を招待しての開催となります。

また、内閣府・革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）の「超薄膜化・強靱化「しなやかなタフポリマー」の実現」プロジェクトリーダーの伊藤耕三先生、カプリティッシュコロンビア工科大学（カナダ）理事のJames Albright先生、ジョン・ホプキンス大学（米国）研究副部長のLarry Akio Nagahara先生、ウィンザー大学（カナダ）工学部長のMehrddad Saif先生など、多くの著名な研究者にご講演を頂く予定になっております。

多くの方のご来訪をお待ちしております。

日程： 平成29年1月27日～28日

場所： 山形大学 米沢キャンパス 100周年記念ホール

参加： 無料

※シンポジウムの詳細は別紙をご覧ください。

お問い合わせ先：

学術研究院 助教

くん じん

宮 瑾（大学院理工学研究科担当）

電話 0238-26-3135

第6回GMAP/LPIC合同国際シンポジウム

The 6th International Symposium of Green MAP Center and LPIC

Jan 27 (Fri) - 28 (Sat), 2017

The 100th Anniversary Hall, Yamagata University, Yonezawa, Japan

(4-3-16 Jonan, Yonezawa, Yamagata, Japan)

<http://ngap.yz.yamagata-u.ac.jp/index.html>

This is the 6th International Symposium of Research Center for GREEN Materials and Advanced Processing, Yamagata University (GMAP), which has been held from 2010. This time, another Yamagata University's world-leading research centers, Life-3D Printing Innovation Center (LPIC) cohost the symposium. Famous 15 researchers are invited from six countries: Canada, China, Japan, Korea, Thailand and USA. Active discussions will continue for two days on polymer, metal, device and sensor, etc. The symposium participation is free. Hope you come and join us.

Lecturers (Alphabetical order):

Dr. Catherine Poulsen (Electrical Geodesics, Inc., USA)

Prof. Hironori Atarashi (Okayama University, Japan)

Prof. James Albright (British Columbia Institute of Technology, Canada)

Prof. Kohzo Ito (The University of Tokyo & JST, Japan)

Prof. Larry Akio Nagahara (Johns Hopkins University, USA)

Prof. Maki Minakawa (Yamagata University, Japan)

Prof. Mehrdad Saif (University of Windsor, Canada)

Prof. Sazzadur Chowdhury (University of Windsor, Canada)

Dr. Sergei Turovets (Electrical Geodesics, Inc., USA)

Prof. Supakij Suttiruengwong (Silpakorn University, Thailand)

Prof. Tad Koga (Stony Brook University, USA)

Prof. Thomas Thundat (University of Alberta, Canada)

Prof. Yong Mao (Yunnan University, China)

Prof. Youngdon Kwon (Sungkyunkwan University, Korea)

Prof. Yuichi Masubuchi (Nagoya University, Japan)

Welcome Party:

18:00~20:30 Jan 26, Café Azuma

Banquet:

18:00~20:30 Jan 27, Tokyo Dai-ichi Hotel Yonezawa



 Yamagata University



Research Center for GREEN Materials and
Advanced Processing (GMAP)



Life-3D Printing Innovation Center (LPIC)

Supported by Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront), Yamagata University

第6回GMAP/LPIC合同国際シンポジウム

The 6th International Symposium of Green MAP Center and LPIC

2017年1月27日（金）～28日（土）

山形大学工学部, 100周年記念館 (山形県米沢市城南4-3-16)

<http://ngap.yz.yamagata-u.ac.jp/index.html>

本国際シンポジウムは、山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センター（GMAP）は2010年から開催しており、本年は6回目となります。今回は、特にライフ3Dプリンタ創成センター（LPIC）も共催に加わり、欧米諸国、アジア諸国から著名な研究者15名を招待し、ポリマーや金属、デバイス、センサー等より広い分野の研究について、2日間にわたって活発な議論を行う。講演会参加は無料となっておりますので、多数の皆さまのご出席をお待ちしております。

講演者（アルファベット順）:

Catherine Poulsen 氏 (Electrical Geodesics, Inc. (EGI), 米国)

新史紀 氏 (岡山大学, 日本)

James Albright 氏 (ブリティッシュコロンビア工科大学, カナダ)

伊藤耕三 氏 (東京大学 & JST, 日本)

Larry Akio Nagahara 氏 (ジョンズ・ホプキンス大学, 米国)

皆川真規 氏 (山形大学, 日本)

Mehrdad Saif 氏 (ウィンザー大学, カナダ)

Sazzadur Chowdhury 氏 (ウィンザー大学, カナダ)

Sergei Turovets 氏 (Electrical Geodesics, Inc. (EGI), 米国)

Supakij Suttiruengwong 氏 (シラパコーン大学, タイ)

Tad Koga 氏 (ストーニーブルック大学, 米国)

Thomas Thundat 氏 (アルバータ大学, カナダ)

毛勇 氏 (雲南大学, 中国)

Youngdon Kwon 氏 (成均館大学, 韓国)

増淵雄一 氏 (名古屋大学, 日本)

ウェルカムパーティ:

1月26日, 18:00～20:30, カフェ吾妻

バンケット:

1月27日, 18:00～20:30, 東京第一ホテル米沢



主催:



グリーンマテリアル加工研究センター(GMAP)



ライフ・3Dプリンタ創成センター (LPIC)

共催: フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 (iFront)

文学と歴史の舞台 江戸・東京を歩く

山形大学地域教育文化学部の前身、山形師範学校の卒業生である藤沢周平氏や山形県川西町出身の井上ひさし氏などの時代小説・歴史小説の主要な舞台となった江戸の面影残る東京で、町歩きと落語口演、対談を実施します。

平成29年3月3日(金) 10時～16時30分

※時間は参加方法によって異なります。
(詳細は裏面をご覧ください。)

第一部 上野・根岸・谷中町歩き ～ 文学の舞台を探访 ～

山本 陽史(やまもと はるふみ)教授をナビゲーターに江戸時代に出羽三山が属した寛永寺や明治に芭蕉の後を慕って山形を旅した正岡子規の旧居子規庵のある根岸、広大な霊園のある谷中を歩き、多くの文学作品に取り上げられた江戸と明治期東京の名残を探访します。(歩行距離約2km) **※荒天時にはコース変更、中止にする場合があります**

○開催時間 10時～11時45分(A班)／13時～14時45分(B班)

○予定コース 東京国立博物館～両大師(寛永寺開山堂)～根岸(子規庵など)～寛永寺坂～谷中霊園(徳川慶喜の墓など)～下町風俗資料館付設展示場(旧吉田屋酒店)～不忍池周辺～上野公園～東京国立博物館

町歩きは多数のお申込みが予想されるため2班に分けて実施します。午前の班の方は自由時間に美術館博物館めぐりなどはいかがでしょうか。スケジュールの詳細は裏面をご覧ください。

第二部 桂 伸治師匠 落語口演・対談「生きている江戸」

○開催時間 15時～16時30分 ○会場 東京国立博物館



桂 伸治
(かつら しんじ)
東京都生まれ

1974年 4月 二代目桂伸治に入門
前座名は桂平治
1979年 4月 平治のまま二ツ目昇進
1989年 4月 真打ち昇進
同時に三代目桂伸治を襲名



山本 陽史
(やまもと はるふみ)
和歌山県生まれ

山形大学 教授(基盤教育担当)
専門は日本文学
近世日本文学者
小説家藤沢周平の研究者



<交通案内>

- ・JR上野駅公園口、または鶯谷駅南口下車 徒歩10分
- ・東京メトロ 銀座線・日比谷線上野駅、千代田線根津駅下車 徒歩15分
- ・京成電鉄 京成上野駅下車 徒歩15分
- ・台東区循環バス「東西めぐりん」で上野駅・上野公園バス停から乗車し、1つ目のバス停が東京国立博物館前(2分)



- 共 催: 東京国立博物館 (申請中)
- 募集定員: 第一部 A班、B班 各40名
第二部 150名 先着順
- 参加費: 500円(保険料等)

(第一部参加者のみ当日現金でいただきます。
第二部のみ参加の場合は無料。)

※お申し込み方法は、裏面申込書をご覧ください。

2/1(水)受付開始!

お問い合わせ
山形大学総務部総務課広報室
電話:023-628-4008 FAX:023-628-4013
E-mail:koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会場(東京国立博物館)へのお問い合わせはご遠慮ください。

〈申込先〉 山形大学総務部総務課広報室

FAX : 023-628-4013 E-mail : koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

「文学と歴史の舞台 江戸・東京を歩く」申込書

お申し込みの際は、以下に必要事項をご記入の上、ファックスをお送りいただくか、以下の情報を入力してE-mailをお送りください。

なお、受付開始は**平成29年2月1日（水）午前10時**です。それ**以前**のお申し込みは**無効**となりますのでご注意ください。

ふりがな お名前 (生年月日)		(年 月 日生)	性別	
			男・女	
ご住所		〒 -		
連絡先電話番号		ご自宅： - - 携帯電話： - -		
Eメール		@		
備考				
第一希望	第二希望	参加希望コースについて第二希望まで左の欄に○を記入してください		
		10:00~11:45	13:00~14:45	15:00~16:30
		町歩きA	第一部 町歩き (自由行動)	第二部 落語口演・対談
		町歩きB	第一部 町歩き	第二部 落語口演・対談
		二部のみ		第二部 落語口演・対談

※ A又はBのどちらかが定員に達した場合は、定員の空きのあるほうへ割り振らせていただきます。一緒にお申し込みの方がいらっしゃる場合は、備考欄にお名前を記入ください。同じ班に割り振ります。

(お申し込みは、お一人ずつお願いします。)

※ Eメールに携帯電話のアドレスを記載された方は、koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jpからのメールを受信できるように設定しておいてください。

※ 今回記載していただいた個人情報、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

※ 町歩きは、安全な道・場所を引率者が配慮の上ご案内いたしますが、参加は自己の責任でお願いいたします。

(仮に自己の責任に基づく事故・怪我があった場合、主催者側は責任を負いかねます。)

平成29年1月17日
山形大学

「山形大学基金」webサイトをリニューアルしました

このたび、山形大学基金をより多くの皆様に知っていただくとともに、本基金へご寄附をお考えの皆様がより利用しやすい寄附環境を整えるため、webサイトをリニューアルしました。

◇山形大学基金 <http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund>

【リニューアルのポイント】

- ①山形大学の歴史を振り返るトップページ
 - ・6学部の懐かしい建物と現在の建物のスライドを配置
- ②多様な寄附方法等の導入
 - ・webサイトからの寄附申込
 - ・クレジットカード決済、インターネットバンキング決済、コンビニ決済
 - ・遺贈による寄附



■山形大学基金の創設と事業

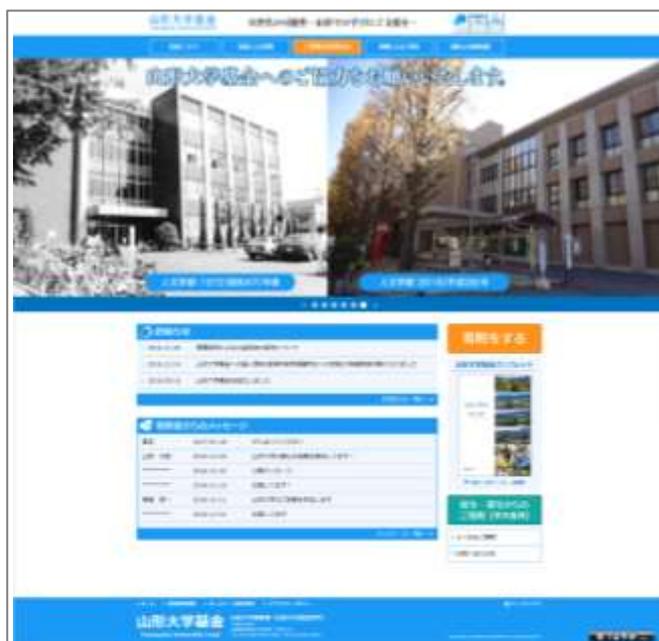
山形大学基金は、これまで皆様からご寄附賜りました、山形大学未来基金、山形大学学生支援基金、山形大学国際交流事業基金、山形大学小嶋国際学術交流基金の各基金による事業の更なる拡充等を目的に、これらの4つの基金を発展的に統合し、平成28年9月16日に創設した全学の基金で、次の事業を柱としています。

- ①学生支援
- ②教育研究支援
- ③国際交流支援
- ④キャンパス環境整備支援
- ⑤社会連携・社会貢献活動等支援
- ⑥その他基金の目的達成に必要な支援

【リニューアルのポイント】

①山形大学の歴史を振り返るトップページ

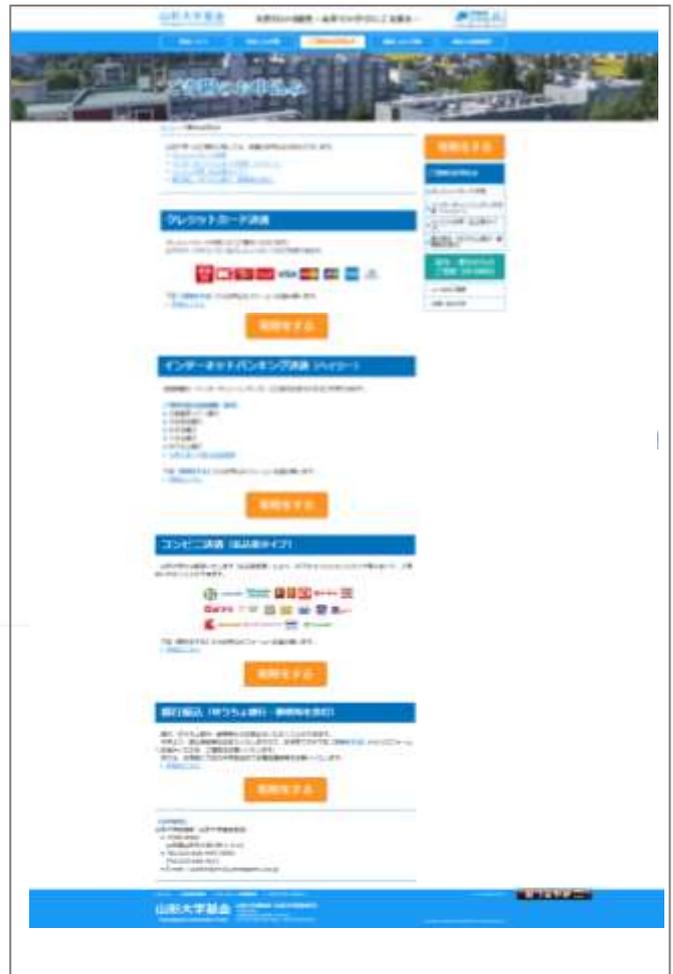
トップページには、6学部の懐かしい建物と現在の建物のスライドを配置しました。本学の歴史を振り返る懐かしい写真を随時更新していく予定です。



②多様な寄附方法等の導入

これまでの銀行振込による寄附方法に加えてクレジットカード決済、インターネットバンキング決済、コンビニ決済及び遺贈による寄附を導入し、より寄附者が利用しやすい寄附環境を整えました。

遺贈による寄附につきましては、遺贈をお考えの皆様の手続きの便宜を図るため、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行と遺言信託に関する協定を締結しております



[山形大学HPからもアクセスできます。]



(お問合せ先)
 総務部 (山形大学基金担当)
 電話023-628-4497,4006
 E-mail:yukikin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成29年1月17日
山形大学

山形大学校友会設立10周年記念「関西セミナーby山形大学」について

山形大学は、校友会設立10周年を記念して「関西セミナーby山形大学」を大阪市内で初めて開催します。関西地域に勤務又は居住されている卒業生や山形県出身の皆さまが一堂に集い、参加者同士が交流する絶好の機会とするべく、本セミナーを企画しました。

「関西セミナー by 山形大学」

◆日時：平成29年2月18日（土）10：00～14：30

◆会場：大阪新阪急ホテル

◆募集：100人（山形大学の卒業生、山形県出身又は一般市民）

◆内容：

★元気な山大生の活動報告

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 山形庄内から世界の農業人へ | 佐藤裕太さん（農学部4年） |
| 2 私はフリーペーパー“Y-ai”の編集長！ | 菅野智佐さん（人文学部3年） |
| 3 70億人を幸せにするエンジニアへ | 中川大成さん（工学部4年） |
| 4 これぞ、学生花笠サークル“四面楚歌” | 松井天幹さん（人文学部3年） |

★記念講演

「最先端科学と地域活性化」

山形大学有機材料システムフロンティアセンター長

城戸淳二 教授（大阪府東大阪市出身）

◆共催：山形大学・山形大学校友会

◆後援：ふすま同窓会関西支部・米沢工業会関西支部・鶴窓会関西支部・
山形県・関西山形県人会

※「関西セミナー by 山形大学」の詳細は、別添パンフレットのとおりに

（お問合せ先）
山形大学校友会事務局
（大沼・黒沼）
電話 023-628-4867

山形大学校友会設立10周年記念

関西セミナー by 山形大学

— 有機ELの最先端研究の紹介と現役大学生の活動報告 —

2017
2.18 sat
10:00 - 14:30

会場：大阪新阪急ホテル(2階) 星・月の間
〒530-8310 大阪市北区芝田1-1-35 TEL:06-6372-5101(代表)

募集人数：100人(定員になり次第〆切りとします。)

●山形大学の卒業生、山形県出身又は一般市民の方

参加費：交流会への参加費 お一人様 4,000円
(山形大学の平成卒は 3,000円)

※プログラムは裏面のとおりに

山形大学は、校友会設立10周年を記念して「関西セミナー by 山形大学」を初めて開催します。

本セミナーでは、山形大学の代表的な研究として東大阪が生んだ発明王である城戸淳二教授による有機ELに関する最先端の研究紹介と、元気な大学生の活動報告を行います。

関西地域に勤務又は居住されている卒業生や山形県出身の皆さまなどが一堂に集い、参加者同士が交流する絶好の機会でもありますので、皆さまには本セミナーに奮って参加いただくよう心よりお待ちしております。



山形大学
小山 清人 学長
(和歌山県すさみ町出身)



講演題「最先端科学と地域活性化」
山形大学有機材料
システムフロンティアセンター長
城戸 淳二 教授
(大阪府東大阪市出身)

山形大学校友会設立10周年記念

関西セミナー by 山形大学

Program

10:00	開会
10:05	主催者代表あいさつ 山形大学 小山清人 学長 (和歌山県すさみ町出身)
10:20	元気の山大学生の活動報告 1. 山形庄内から世界の農業人へ 佐藤裕太さん (農学部 4年) 2. 私はフリーペーパー“Y-ai”の編集長! 菅野智佐さん (人文学部 3年) 3. 70億人を幸せにするエンジニアへ 中川大成さん (工学部 4年) 4. これぞ、学生花笠サークル“四面楚歌” 松井天幹さん (人文学部 3年)
11:10	記念講演 講演題「最先端科学と地域活性化」 山形大学有機材料システムフロンティアセンター長 城戸淳二 教授 (大阪府東大阪市出身)
12:30	参加者による交流会
14:30	閉会

参加申込書 [受付開始:12月1日(木)]

必要事項をご記入のうえ、
山形大学校友会事務局へ
郵送、電話、FAX 又は E-mail の
いずれかの方法にてお申し込みください。

住所 〒990-8560
山形市小白川町1丁目4-12 山形大学校友会事務局
電話番号 023-628-4867・4889
F A X 023-628-4185
E-mail ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

最初に、あなたは次のどれに該当するかを教えてください。(該当する番号すべてに○で囲んでください。)

①山形大学の卒業生 ②山形県出身者 ③その他(①又は②以外)

ふりがな			
お名前			
住所	〒		
電話番号		F A X	
E-mail			

参加希望の内容

(該当する番号を○で囲んで下さい。)

①セミナーと交流会 ②セミナーのみ ③交流会のみ

以下の項目は、山形大学の卒業生の方にお聞きます。

出身学部・ 大学院等名	(学部・研究科)		(学科・専攻)等
卒業・修了年	昭和 平成	年 (卒業・修了)	同窓会名
所属していた サークル名			

※個人に関する情報は、本セミナーに関するこのみに利用させていただきます。

平成28年度

山形大学OB & OGセミナー

日時

2017年3月4日(土) 10:00~15:30 (受付9:30~)

会場

グランパーク 301大会議室

東京都港区芝浦3-4-1 田町グランパーク プラザ3F TEL03-5441-2100

※ 昨年までの山形大学東京サテライトの会場から変更になっておりますので、ご注意ください。

● 定員 200名

● 参加費

セミナー：無料

交流会：(一般の方) 5,000円

(平成卒業・修了の方) 3,000円

● 申込方法

裏面の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

● 申込締切 **2017年2月10日(金)**

会場案内図



JR田町駅から(徒歩5分)
地下鉄都営浅草線・三田線 三田駅から(徒歩7分)

プログラム

10:00~10:10

開会挨拶 小山 清人 山形大学長

10:10~11:20

講演Ⅰ 「憲法改正問題について知っておきたいこと」
学術研究院(人文学部担当) 中島 宏 准教授

11:20~11:40

- 休憩 - ~ 山形大学オリジナルグッズの紹介と頒布 ~

11:40~12:50

講演Ⅱ 「3Dプリンターで未来の暮らしはどう変わる？」
学術研究院(大学院理工学研究科担当) 古川 英光 教授

12:50

閉会挨拶 大場 好弘 山形大学理事・副学長

13:10~15:30

交流会 (セミナー会場と同じ場所で開催します。)

お問い合わせ
お申し込み先

山形大学校友会事務局 (担当: 大沼・黒沼・田辺)

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

TEL: 023-628-4867 FAX: 023-628-4185 E-mail: ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年度 山形大学OB & OGセミナー

■ 講演 I

「憲法改正問題について知っておきたいこと」

学術研究院（人文学部担当） 中島 宏 准教授（憲法学）



中島 宏 准教授

衆参両院で改憲に賛成の政党所属議員が3分の2を超えた現在、憲法改正についての議論がいよいよ活発になっています。我々自身が判断を迫られるときも、そう遠くはないかも知れません。改正自体はタブーではありません。重要なことは、改正によって我々は何を得て、何を失うのかということをしっくり吟味することです。

そこで本講演では、そもそも憲法とは何かという点を確認した上で、9条の現状や緊急事態条項新設の是非等の個別の論点について、皆さんと考えてみたいと思います。

■ 講演 II

「3Dプリンターで未来の暮らしはどう変わる？」

学術研究院（大学院理工学研究科担当）

ライフ・3Dプリンタ創生センター（LPIC）センター長

古川 英光 教授（先端材料、ソフト&ウェット材料）

3Dプリンターが話題になり始めた2012年から4年が経過し、過度な期待から起きた幻滅も一段落し、啓蒙普及期に入ったと観測されています。ものづくりや暮らしの在り方を変える可能性がある3Dプリンター。人工知能や機械学習の発展と組み合わせあって、人間と対話してものづくりをする「スマートマシン」になるかもしれません。3Dプリンターを取り巻くさまざまな話題に触れながら、山形大学で進められている3Dプリンター研究や社会実装の取り組みを紹介いたします。



古川 英光 教授

【お知らせ】 セミナー会場前では、山形大学オリジナルグッズ（「学長せんべい」や「山形大学吟醸酒」など）の紹介と頒布を予定しています。

参加申込書

必要事項をご記入のうえ、山形大学校友会事務局へFAXまたはE-mailにてお申し込みください。

FAX：023-628-4185

E-mail：ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ふりがな		同窓会名	
お名前		卒業年	昭和・平成 年卒
ご住所	〒 -	電話番号	() -
		FAX	() -
		E-mail	

交流会（一般：5,000円、平成卒業・修了：3,000円）に参加を **希望します** ・ **希望しません**
※どちらかを○で囲んでください。

※参加申込書の個人情報は、本セミナーの手続きや山形大学のイベントのご案内にのみ利用させていただきます。

モンテディオ山形杯

雪中棚田サッカー大会in大蔵2017



参加チーム
大募集!!



優勝チームには
棚田米1俵(60kg)贈呈!!

2017
2/18(土)

山辺町大蔵の棚田

8:30~13:30

■スケジュール

- 8:30 受付
- 8:45 開会式
- 9:00 ウォーミングアップ
- 9:30 予選リーグ(8試合)
- 11:45 決勝・3位決定戦
- 12:10 閉会式
- 12:30 昼食会
- 13:30 解散

- 参加費:1チーム3,000円
- 対象:中学生以上
- 募集チーム数:先着10チーム
- 参加賞:各チームに舞米豚

申込み締切
2月8日(水)
16:00まで

主催:大学コンソーシアムやまがた、中地区有志の会、グループ農夫の会
後援:山辺町
協力:公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会、(株)モンテディオ山形、山形県

詳細は裏面へ→

モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会 in 大蔵2017 参加者募集

1. 目的
「モンテ棚田米発祥の地」である山辺町大蔵の棚田の中でサッカーを行うことを通して、モンテディオ山形のチームとサポーター、サッカーファンそしてモンテディオ山形のホームタウン住民が交流を深める場を創出するとともに、「棚田での雪中サッカー」という新たなサッカーの楽しみ方を体験してもらうことで、モンテディオ山形を起点とした元気な地域づくりに貢献します。
2. 日時
平成29年2月18日（土）8:30-13:30
3. 会場
山辺町大蔵の棚田
【駐車場等については、当日、中支所・中公民館付近(山辺町大字大蔵1164-1)からスタッフが案内いたしますが、場所に限りがありますことから相乗りでお越しいただくなど、ご協力願います。】
4. 主催・共催・協力
主 催：大学コンソーシアムやまがた、中地区有志の会、グループ農夫の会
後 援：山辺町
協 力：公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会、(株)モンテディオ山形、山形県
5. 参加費（昼食時に提供する「わらび汁」代等含む。）
1チーム 3,000円
6. 参加対象
中学生以上
7. 募集チーム数
先着 10 チーム(6人でエントリーし、試合は5人が出場する。5人のうち1人はゴールキーパー。)
8. 内容
競技方式：予選／3チームずつ4コートに分かれてリーグ戦を行う。（内2チームはモンテディオ山形のジュニアユースチームが参加）
決勝／各コートの上位1チームでトーナメント戦を実施し、優勝を決める。負けたチーム同士で、3位決定戦を行う。
試合形式：フットサルに準じた特別ルールを採用、6分ハーフ制
景 品：優勝チームへ棚田米 1俵(60kg)
参 加 賞：各チームに地元山辺産のお米を食べて育った「舞米豚」
服 装：原則、長靴を使用する。雪上での大会ですので、温かい格好でご参加ください。
持 ち 物：おにぎり、飲み物等ご持参ください。（昼食に「わらび汁」を提供します。）
※その他、当日の日程については表面をご覧ください。
9. 参加申し込み（必ずチームでお申し込みください。）
参加者全員の ①お名前、②年齢、③性別、④代表者の電話番号、⑤チーム名、⑥チームのプロフィールを書いて(記載形式自由)、FAXまたはメールで下記の「お申込先」までお送りください。
申込締切は 2月8日(水) 16:00 まで。参加費は当日受付でお支払いください。

【お申込先】大学コンソーシアムやまがた (FAX:023-628-4820／E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

～モンテディオ山形杯～ 雪中棚田サッカー大会 in 大蔵【参加申込書】

氏 名 <フリガナ>	年 齢	性 別	代表者の連絡先(携帯)
1. [代表者名]			TEL:
2.			チーム名／チームのプロフィール
3.			[チーム名]
4.			[プロフィール]
5.			
6.			